



2024年9月 セキュリティ対応状況と検知状況

2024年10月
東日本電信電話株式会社

セキュリティ対応状況

2024年9月2日（現地時間）、Positive Technologies社より2024年上期の世界におけるデータ侵害に関する調査結果が公開されております。調査によると、サイバー犯罪者は個人の情報窃取から企業の資格情報や機密情報を窃取することに焦点を移しています。特に2024年上半期の企業に対する機密情報の侵害は2023年の同時期と比較して10ポイント増加し、過去最高の24%にまで急増している一方、個人情報の侵害はピーク時の2023年第2四半期の53%に比べ、2024年第2四半期は25%まで減少しております。なお、成功した攻撃の主な手口は、マルウェア、ソーシャルエンジニアリング、脆弱性の悪用の順に多く、マルウェアの中では特にランサムウェアが約3分の1を占めています。

これらの攻撃の手口への対策としては、OSやアプリケーションの定期的なアップデートの適用、不審なメールに添付されているファイルを開かないといった基本的な対策が重要となります。

■参考Positive Technologies社（記事英文）：

<https://global.ptsecurity.com/about/news/positive-technologies-hackers-are-targeting-credentials-and-trade-secrets>

セキュリティ検知状況

- ・ おまかせサイバーみまもり専用BOXで検知したアラート数をNTT東日本が集計
- ・ 集計期間：2023年10月～2024年9月

不正侵入検知

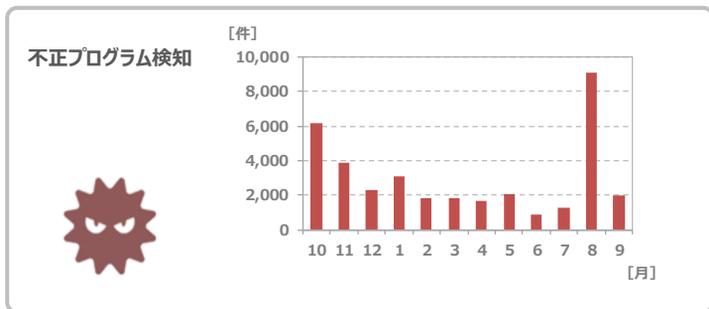


直近12カ月平均：4,085,619件
2024年9月：6,919,569件

直近12カ月の月平均に比べ高い検知状況が継続しています。

引き続きサーバ等を公開する際には十分にセキュリティ対策を実施してください。

不正プログラム検知

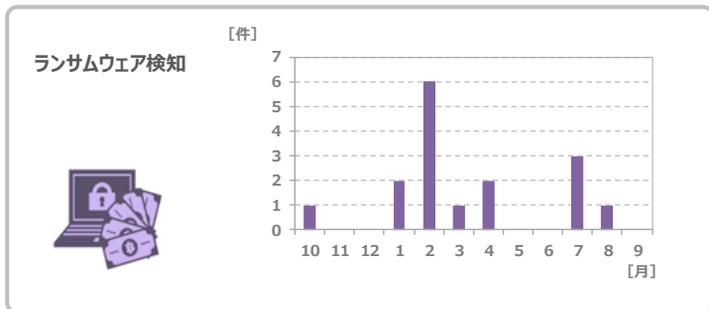


直近12カ月平均：3,007件
2024年9月：2,013件

直近12カ月の月平均に比べ低い検知状況となりました。

Emotetなどの不正プログラムについては、引き続き十分に注意してください。

ランサムウェア検知



直近12カ月平均：1件
2024年9月：0件

9月は検知数が0件となり、直近12カ月の月平均に比べ低い検知状況となっています。

ランサムウェアには、引き続き十分に注意してください。